



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

# プロバスだより

第303号

2021 年 2 月 11 日発行

編集・発行：情報委員会

2020～2021 年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

## 第 303 回例会（中止）

### 1. 会長挨拶

余りおめでたいとは言えない状況での新しい年の幕開けとなっていました。会員の皆様にはそれぞれ複雑な思いでお過ごしになっておられることかとお察し申し上げます。



新型コロナウイルスによるパンデミックという、現在地球上に住んでいる大部分の人間がかつて経験したことのない大惨事に見舞われて、右往左往している状況になってしまいました。未だ終息の目処もついていない現状です。本来なら華々しく開催されるはずであった東京オリンピックも影が薄くなってしまいました。

わがクラブも創立 25 周年を記念して、当初はかなり大がかりな次世代を育てる音楽祭を計画していました。残念ながらそれは実現不可能になり、その思いだけは活かしてささやかに、出場校に記念品贈呈ということにしました。

地域への貢献活動の一大目標であり、「生涯学習サロン」はクラブ設立以来毎年継続してきた事業ですが、残念ながら本年度もその実施を見送らざるを得ないと、先日の理事会で決定しました。何より毎月の例会が私たちの活動の原点であり、皆さんと顔を合せ話し合えることが、大いなる楽しみであり喜びであるのに、それがかなわない……実に口惜しいことですが、今月も一同に会しての例会は中止と先日の理事会で決定しました。

今年度のテーマの一つ「コロナから身を守る」、今は身を屈めて、憎きコロナをやり過ぎすしかないのでしょうか。私たち自身がコロナから身を守る行動が大切なのでしょう。

もう一つのテーマである「温故知新」については、内山情報委員長の多大のご努力で、この度「創立 25 周年記念誌」が完成し、皆さんにお届け出来る運びとなりました。輝かしい活動の記録として末長く残ることに誇りを感じています。このような時期ですので、いつにも増してじっくりお読み頂けるのではないかと期待しております。

蛇足になりますが、正月 2 日の早朝、急に思い立って、みなみ野の我が家から歩いて高尾山に登ってきました。今回はさすがに少し疲れて麓からリフトに乗ったのですが、到着駅から頂上まで結構あるんですよ。2 万 9 千歩ほどでした。頂上には若者を中心に子ども連れも多く、賑わっていました。標高 599m を表示したポールの前で記念写真を撮るべく皆さん列を作って並ぶんですよ。富士山は綺麗でした。今年の安寧を祈ったことでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

令和 3 年 1 月 14 日(木)に予定されておりおました第 303 回プロバスクラブ例会は会長挨拶にもありましたように中止となりました。

プロバスだよりは従来通り、例会が開催されなくても発行は続けていくことになっておりますので、内容的には「プロバスだより第 302 号」と「創立 25 周年記念誌」に同封されております「会長ご挨拶」の部分と重複しますが、記録として残しておくことにしました。(情報委員会)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 2. 理事会での審議内容

#### (1) 幹事報告

持田幹事

コロナ感染が激増し、緊急事態宣言が発令されているなか、会合を持つべきではないという理事会での決定により 1 月例会は中止せざるを得ませんでした。2 月以降の例会については、毎月開催される理

事会において開催の可否を審議することになっていきます。

① 第25回生涯学習サロンは中止とし、参加申込者には中止の連絡をする。

② 25周年記念事業「小中学校音楽活動優秀校演奏会」は3月21日開催予定だが、教育委員会の指針に従う。

③ 一般会計半期執行状況については、予算内で収まっている。

## (2) 各委員会からの報告

### 1) 例会委員会

齊藤委員長

1月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードを贈る予定でしたが、例会中止のため郵送することにしました。次の8名の方々です。

下山会員、武田会員、下田会員、寺田会員、堀会員、土屋会員、佐々木秀勝会員、河合会員。

### 2) 情報委員会

内山委員長

例会が開催されなくてもプロバスだよりは発行します。

創立25周年記念誌は多くの方のご協力により完成し、プロバスだよりと同封して郵送します。

卓話・25周年を振り返って・同好会報告については例会が中止された場合、プロバスだよりに掲載します。

### 3) 会員委員会

寺山委員長

間宮敏明会員が一身上の都合により12月31日付で退会しました。

### 4) 研修委員会

飯田委員長

卓話については、例会が短時間に絞られることや例会中止の場合もあることから、話し手への交渉が難しい状況にあります。

### 5) 地域奉仕委員会

馬場委員長

生涯学習サロン2年間中止に伴い会員からの預かり金は返金する方向で検討します。

### 6) 交流担当。

一瀬理事

2022年度全日本プロバス協議会の八王子総会の準備段階に入っており、諸準備を始めています。

### 7) 宇宙の学校

下山PJリーダー

今年度の計画は1月17日の会議にて決定される。小規模人数での企画になりそうである。開催時期については6月、9月、10月などと年の後半にプログラムをずらす考えもあります。

## 3. 25周年を振り返って

### 第6回地域奉仕委員長

下山 邦夫

田中会長の古きをたずね新しきを知ろうという方針で生涯学習サロンの昔を語るよう選ばれました。私は第6回の地域奉仕委員長でした。第6回を中心に昔を思い出してみます。サロンは「会員の豊かなキャリアを生かし、地域社会に知的に貢献する」ためにあります。6回までのサロンの話題を見ると、それぞれ深い経験と見識で見事にニーズに答えていると思います。勿論会員だけでは広い話題をカバーできず、会員の広い交友を生かして外部講師を呼んでいます。開講講座や閉講講座はそうなっています。



第3回までは講師の話題をみんなで聞いた後、分れてサロンとして講師を囲んで話し合う部屋をもうけるやり方でした。時間的に無駄が多いので、現在の形式に第4回から改められました。

第6回の特徴の一つに前年のサロンが赤字であったので、絶対に赤字にしない、という条件がありました。

そのため一般サロン会員の募集を計画とできるだけ合わせる。多すぎると広い部屋を使うと狂うし、野外のバスも3台になる。増やすなら採算分岐点を超えるように参加者をかなり大幅に増やさねばならない。リスクが大きいので、安い部屋を使う前提で進めました。(プロバスクラブ会員含めて100名～)

案内状の送付はリピーター3年分とし、広報も市広報、ショッパーのみとする。つまりサロンのリピーターを中心とし、その方々が興味を持てる話題を選ぶ、と考えていたと思います。1日4テーマでは選択に悩む、聞きたい講座が重なるというクレームがくるのは承知でしたが、それぐらいでないといふ数は集められない、このニーズをプロバス会員でカバーするために、話し手をお願いするにあたって、少々ご無理をお願いしました。例えば千人同心がご専門の野口さんに、前田利家による八王子城落城をやってくれと頼みました。その年の大河ドラマが「利家とまつ」でしたので。また環境問題が地球規模に叫ばれていて、松尾さんに「動物たちの21世紀」と題名をつけてお願いしました。藤野さんの裁判員制度の発足にちなんだ

映画と解説がぴったりでした。野外サロンではバス2台で2通りのコースをもうけ選択肢を増やしました。

奥多摩の歴史と文化を訪ねて青梅市中心に1コース、五日市ふるさと工房で「紙漉きと陶芸」の体験を1コース。この体験コースでできた陶芸の焼きあがったものは後日郵送（各自負担）、費用節約のため一括でプロバス事務所（花童）におくり、知り合い同士のサロン会員で、受け取りに来て配っていただきました。手ひねりのため誠に変わった作品ができていました。（紙＝軍道紙＝クラブで受け取りに行き次の機会に配りました）

高齢化がすすむ時代で、健康のための運動、食生活、医師へのかかり方などの話題も充実しています。食は保健所の助けを求めました。ほぼこれらがプロバスクラブ会員で提供できていました。

でも何といってもファミリーが出来ているテーマによる所が大きかった。近藤泰雲さんの良寛さまなどの話、平原さんの音楽と映像による各国都市巡り、立川さんの「懐かしの映画と音楽」など確実に参加者数が読めるテーマがあったのが心強かった。渋谷さんの中国物も忘れられません。宮崎さんは八王子の祭りをテーマに座談会、初めて聞く人には驚くことが多かったでしょう。地元の文化史は閉講講演では法政大学小沢教授に透谷と八王子とのかかわりを紐解かれ、古き八王子の香りをたっぷり聞きました。これらのサロンの記録を担当して下さった梅木さんの名文で、よく八王子の歴史が再現されています。必要な外部とのお力を借りることも有用でした。

これらは話し手が本当に心から愛してるテーマです。八王子への人口流入が盛んな頃、地元の事を知りたいニーズは高かったでしょう。その後いろんな方が増えバラエティーは発展していきます。

昨今は高齢化がプロバスクラブやサロン参加者とともに悩みですが、プロバスクラブの会員が各自持っている趣味やテーマについて研鑽しておかなければと思います。

「知的に貢献する」のですから、さらに大切なことはプロバスクラブの跡継ぎを作ることです。著名な方を呼んできてサロンを開くのではなく、プロバスクラブの会員が自力で開けるのが基本です。お金で開くのではなく会員の情熱で開くということでしょうか。

（お詫び、文中物故者を区別していません）

#### 4. 同好会活動報告

ゴルフ同好会 幹事 持田 律三

会員数 13名（新会員・休会員含む）

常時募集中

平均年齢 80.3歳

コンペ開催

八王子プロバスクンペ

春・秋 年2回

多摩地区3プロバス合同コンペ

春・秋 年2回

昨年 秋に第36回八王子プロバスクンペ開催

今年 春の第37回コンペは中止、秋もコロナで中止

初代会長は米林伸恭会員、2代会長は小林貞男会員

コンペルール 75歳以上はゴールドティを使用

今年から全員が後期高齢者になるので、ゴールドティ

（前進打席）から！！

コンペ表彰 優勝、準優勝、3位、7位、BB賞、NP賞

〈ゴルフの楽しさ！〉

- ・自然の中、緑の中でプレー。
- ・4人でプレーするが、すべては自分との闘い！
- ・良くても、悪くも、すべて自己責任！！
- ・すべて自分で判断 味方はキャディだけ。
- ・年齢を問わない。
- ・上手、初心者をお問わない。
- ・ハンディキャップがある。
- ・紳士精神・マナーが大切



（コロナが収まらない中マスクしてプレー）

- ・飛ぶ人も、飛ばない人も、あまりスコアは変わらない。
- ・練習しないと上手にならないが、練習しても上手になるとは限らない。
- ・上手になったと思っても、維持することは至難
- ・音感の良い人は上手になりやすい、リズム感が大切
- ・ゴルフする人にうつ病はいない！我慢に慣れている。



・ハンディキャップ5以下を20年続ける人は、いろいろなリスク？がある。

例えば、家庭不和になりやすい、友達を失いやすい。ですから、あまり上手にならないで、楽しくやるのがコツ！！

### 第13回多摩地区3プロバス合同ゴルフ会



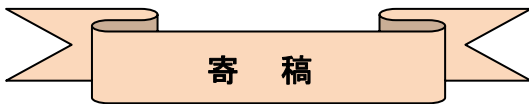
森、矢野、北村、寺田、登坂、小林順治、朝倉、吉村、持田、田中、一瀬、黒澤、渡辺、大島、杉山、小林、野村、矢島、飯佐、川久保

八王子7名  
多摩4名

参加者 19名 GMG 八王子 2019年5月17日

・いつでも会員募集中！！

一緒に緑の中でゴルフしませんか！！



#### 我ら昭和世代(3)

杉山 友一

時の流れはまさしく光陰矢の如し、気が付けば昭和・平成・令和にまたがり今85歳の平穏な日常があり、我ながらよくぞここまでの感が募る。日本人の平均寿命はこの10年間で男女ともに5年以上伸びていて、2025年には何と女性の半数が90歳の大台を獲得すると言われている。そんな折、始まったばかりの令和時代がいきなり新型コロナ禍に巻き込まれて、これからの社会の在りようが一変することがはっきりしてきた。如何にも昭和は遠くなりの実感が身に沁みる。



30歳の折、父親が建設会社の役員を務めていた関係から、空調エンジニアリング会社を立ち上げて経済成長の波に乗り成長、5年後には35歳の若さで八王子西ロータリークラブの会員に推されて、明治、大正の諸先輩と行動を共にすることが多くなった。今更ながら先人たちから人間学の多くを学ばせていただいた記憶が蘇る。また40代からは東京地区の全体活動に参加して日本を代表する東京ロータリークラブの方々との交流が生まれて、実業の分野で新たな事業展開の機会などが得られた思い出は、往時の輝いた時代

の貴重な出来事だった。

それにしても大先輩たちには豪快な方が多くいた。ある方は家庭の外でも精力的に子づくりに励み、その理由は数あるご自分の関連企業のトップに据える人材の生産活動だと豪語された。今では全く世間離れした非合理的な人間像だが、感心したことは、お相手の女性たちにはそれなりのお店などの事業を与えて終生の生活基盤を整えるなど責任感旺盛の人生を送られたことにある。それにしてもこうした振る舞いを家庭内で黙認する奥様たちの忍耐強さは今や昔の語り草である。男女の境なくその背骨の図太さには自分の親も含めて驚愕の一言に尽きる。

さて又、昭和の良き時代の象徴は高度経済成長に支えられたネオンまぶしい夜の街の繁栄にあった。小生はかつて三洋電機(後にパナソニックと合併)の空調システムサービス全国協力会の会長を5年間務めた関係から全国をくまなく回り、現地の有力者の案内でゴルフをご一緒し、折々夜の街を楽しませて頂いた。当時の記録をめくると、北は北海道の札幌すすきの、東北仙台では青葉区国分町のネオン街、名古屋の錦3丁目、岐阜の柳ヶ瀬、京都は祇園、先斗町と木屋町、宮川歌舞練場のお座敷街、大阪はまた凄いエネルギーで、北新地、梅田、道頓堀と思い出が深い。九州博多の中州も九州人の遊び好きを思い出すしやれた夜の街だった。東北の夕暮れは早く、暮れなずむ街並みに津軽三味線の音が似合うが、九州の博多っ子は夕方から目が輝く。さっさとひと風呂浴びてから夜の街へ繰り出していく遊び上手が多い。そういえば今は亡き渋谷会員の会社の部長さんが博多に単身赴任したが、こまめに身の回りを世話してくれるお店のママさんのサービスが良すぎて、酒で体を壊して他界してしまったことがあった。転勤族には要注意の教訓だ。

さて、最後に忘れていけないのは東京で、銀座、新橋、六本木、更に新宿、池袋、錦糸町等々各地のお店は多彩で、今は昔話になるが、本業の傍ら出資先のオリコの子会社の役員を18年間務めていた関係からよく通った銀座のクラブがあった。ホステスさんの多くは東宝映画の女優さんの卵たちが務めていて底抜けに明るく、毎夜のごとく日本経済万歳の雰囲気満ちていた。因みに当時のオリコの総資産は7兆円に達していた。一転して、下町の錦糸町駅前の巨大キャバレー「グランド大興」では、入店しながらずらりと入り

口に整列したホステスさんの中からお気に入り指名して席に着くという痛快なお店で、巨大な店内の喧騒は、当時の逞しい庶民のエネルギーの象徴だった。まさに1980年代にはジャパン・アズ・ナンバーワンと言われた昭和という時代である。それが今、寂しいかな、平成・令和と、国力の大きな進展が見られない中で、今更ながらにコロナ禍が追い打ちをかけている。そのコロナ後の社会については、某週刊誌が経済秩序の崩壊により一級国民と二級国民の分断社会が出現し世間は混乱を極めると警告していた。

この先10年、日本丸の向かう港は果たして良港だろうか。輝ける時代の体験者我ら昭和世代、一世を風靡した小林旭の一曲「遠き昭和に」を今、五木ひろしが再びリリースした。その一節「思い出だけが心を巡る、遠き昭和のまぶしい時代、遠き昭和の灯りが恋し」が重ね重ね胸を過ぎる。

### つぶやき「主夫歴2年生」 武田 洋一郎

2年前から、専業ではありませんが“主夫”を始めました！主婦の仕事を分析すると、種々ある中で家事といえば、インナーでは炊事・洗濯・掃除、アウターでは買い出しですね。それまではインナーの分担はあまりしませんが、アウターの買い出しは、荷物運び役として、いまは購買を任せられました。



今回の喧きは「買い出し」についてです。あらかじめ買う物を紙に書いてスーパーへ。初めは野菜や総菜、調味料、その他、多々ある陳列品の中から目的の商品を探すだけでも、店内をあちこち徘徊、時間がかかりました。また、同じような品目がある場合、適当に陳列棚から取り出していました。慣れてくるに従い1円でも安い方に目が行くようになるのです。さて、買い物が終わったら、レジでの勝負です。会計2,341円、後ろにお客が並んでいるので、小銭を出すに手間がかかっては迷惑と思い、1,000円札3枚とショップ・ポイントカードを渡します。レジ袋が必要か尋ねられ、要りませんと応える。おつりが659円、渡されたのが、レシートと500円玉1枚、100円玉1枚、10円5枚、1円9枚、計16枚の硬貨がジャラジャラ。小銭入れが膨らむこと極まりない。そして籠をもってレジを出てから、サッカー台(作荷台)へ。そこで、レ

シートと品物の金額を確認しながら、持参のショッピングバッグに詰め込みます。時々、特売で価格が下がっているもの、また、バーコードリーダーの読み込みエラーもあるので、注意深くチェックが必要です。濡れている品物やトレーに入った品物は備え付けのポリ袋をロールから引き出して入れますが、これがまた極薄なので袋の口がなかなか開かずいらつきます。

総菜などは夕刻になると時間単位で割引率が違ってきます。午後6時過ぎにはなんと50%OFFになる総菜もあります。とあるスーパーで800円のヒレカツが400円ということも。ラッキー！ただし、人気の総菜は早々になくなってしまいますね。

コロナ禍、外出自粛でまとめ買いが多いので、リュックサックとエコバック(手提げ袋)が活躍します。以上のような流れで買い出しが進みます。

昨年、会計をキャッシュレスにしようと、スマホにクレジットカード、ポイントカードを登録しました。今ではスーパーでも支払機が設置され、個人が機械を操作・入力するようになるところも出てきました。スマホに登録したので、財布から数あるクレジットカードやポイントカードを探さず、スマホだけで簡単に支払いができるようになりました。コロナ禍の元、紙幣や硬貨に触らずに支払い、釣銭受け取りせずにできるので感染リスクはなく衛生的です。ただ、スーパーによっては、現金でしかポイントを付与しないところもあります。

今はレシートをスマホで読み取り、支払い経過がわかるアプリがあり、それを利用しています。またポイントカードはスーパー、コンビニ、ドラッグストア、ショッピングモール、レストラン他20種くらいあり、ポイントも一括で管理できるのでその期限切れで消滅することもなくなりました。

最後に、主夫の大先輩もいらっしゃいますが、買い出しの経験のない会員諸氏、その時が来たら大変ですので、まごつかない様に今から、そのお手伝い見習いをお勧めします。

### 私は本当に村上海賊の子孫なのか 立川 富美代

父の元気な頃に良く先祖は海賊ではないかと聞かされておりました。最近自分が年を取り、本当に父の言っていた話を確認したいと、図書館で色々な日本の海賊についての本を読んでみました。どうも父の言う

ことが正しいかなと思えます。

父の名前は村上好文、明治40年生まれですから元気でいけば114才位でしょう。でじょ(出生地を父の国ではこの様に言います)は徳島県美馬郡穴吹村と言ひ、四国山脈と阿讃山脈の急峻な山間の吉野川に沿った山の中で生まれたそうです。すぐ近くに徳島県の有名な観光地「祖谷のかずらばし」「大歩危小歩危」があります。父の言うのには「大歩危」などから奥には平家の落人と言われる集落がたくさんあり、父自身は村上を名乗る村人も皆平家の落人だと思っていたそうですが、どうも成人してから聴いてみると平家の関係ではない。そして村上と名乗る集落には○の中に上と書いたものが飾ってあるそうで、自分の家にもその様な柄のものがあつたので、後日になって自分の祖先は歴史に出て来る「村上海賊」らしいと思っていたそうです。

村上水軍の歴史は多くの文献にも残っており、村上海賊の博物館もあり、小説にもなり、最近ではNHKの「ブラタモリ」でも詳しく調べていました。村上海賊のグループは3グループあって、どうも私の祖先の村上愛媛県の海岸で半農半漁であつて、海賊出動の時の「勢子」ぐらいの立場であつたのではないかと思います。豊臣秀吉の時代になって海賊禁止令が出てから、皆ちりぢりばらばらと山の中に逃げ込んだのではないかと。

父は山の中で生まれてその後は子供の頃からの夢であつた船乗りになりたいと、旧神戸高等商船学校を出て、大阪商船(株)の南米航路に乗船していましたが、第二次世界大戦がはじまって、海軍軍属として陥落したばかりの香港に徴用されました。香港とマカオを結ぶ海上を爆薬や食料を積んだ船の船長をして、私たちに過酷な生活を良く話してくれました。戦後船会社を止めた後も名古屋で港湾関係の会社をしていました。

父も自分の祖先が「村上海賊」だろうとは思つてはいたらしいですが、生涯海に関係した仕事が出来たことは体の中に水軍の血が流れていたのか。父の生きざまを娘として見てきて元気なうちに一緒に「村上海賊」の歴史を調べることが出来ていたら、もっと「村上家」の祖先が見えたかもしれないと思います。私の先祖は海賊だぁ～と大きな声で言えるのですけどね。



## 俳句同好会便り

私の一句〈一月の句会から〉

河合 和郎

緊急事態宣言により1月の例会は中止に。これになり俳句同好会の句会も中止。代ってメールでやりとりする「紙上句会」を開催した。

冬木立つがいの鳥の巡り道 下山 邦夫

いい光景を捉えた佳句。冬山にもそろそろ恋の季節が訪れる。「巡り道」は季節の巡りでもある。

切山椒甲斐の便りを仏前に 飯田富美子

懐かしい季節の菓子がふる里から届いた。先ずは仏壇に供えてから。中七の地名が効果的。

賀詞なれば金釘流の味滲む 馬場 征彦

味気ない印刷の賀状より、個性あふれる手書きの賀状は宝物。文字の向こうに友の顔が浮かぶ。

診療の次は薬局冬の道 野口 浩平

言われてみれば日頃の医者通いはこのパターン。早く快方に向かい「春の道」になって欲しい。

誰かある眼鏡曇らぬマスク持て 東山 榮

大殿のご出座。俳諧味あふれる一句。卒寿明けの潤れない若さとセンスに脱帽。次は白寿を。

幼児を泣かす仁王や初不動 矢島 一雄

初参りの一コマ。幼子と仁王の対比が面白い組み合わせ。大人が見てもあの顔は怖い怖い。

赤き薔薇一輪添へて喪正月 池田ときえ

赤いバラに作者の揺れる心が投影された。喪正月は切ないが元気な姿が何よりの恩返しになる。

算額に思案の親子初参詣 田中 信昭

和算は高度で奥が深いと言われる。子供に聞かれて困惑している親の顔が浮かんでくる。

雪しまき釘の緩びし板戸鳴る 河合 和郎

今年、北国では大雪に見舞われて大変な思いをされている。そんな様子的一端を一句に。

### 編集後記

例会は中止となりましたが、寄稿文などを掲載したことにより変則的な構成ではありますが発行出来ました。 内山雅之

